

寝屋川市立池田小学校放課後子ども教室「池小にっこにこクラブ」では、子どもたちが自由に活動できるスペースを提供する「寺子屋」と「校庭開放」を行っています。コーディネーターの高橋さんと実行委員長の川口さんにお話を聞きました。

○寺子屋は月に6～7回、校庭開放は月に9回ほど開催されているとのことでした。開催する予定は毎月の学校便りでもお知らせされています。



にっこにこクラブコーディネーター高橋さんの話、

「昔、駄菓子屋の前に集まっていたような居場所を作ってあげたい。」それがこの取り組みの始まりと言います。ふと、目にしたホームページに「駄菓子屋楽校」というのが目に入ったのがきっかけだそうです。

以前は、活動ごとに取り組みを考えてらしたそうですが、ネタ探しや準備に毎回負担を感じられていたとのこと。そこで、「子どもたちのしたいことができる場所を提供する形にしてみよう」ということで現在の形に。

寺子屋では勉強のスペースと工作に使えるような材料を集めておいておくという少しの準備をするだけ。「それでも子どもたちは自分で工夫して遊びの場に使っていますね。」と高橋さんは話す。

◎寺子屋

入口には寺子屋のカラフルにデザインされた案内板。

低学年図書室を開放し、半分は宿題ができるスペース、半分は、工作やボードゲームができる場となっていました。基本は、子どもが自分のやりたいことに取り組みます。

宿題、工作、オセロ、あやとり、けん玉 折り紙など・・・

その他にも、不定期に様々なプログラムを企画しています。先日行われた花摘みには100人を超える参加者があったとのこと。地域の方や保護者も参加しての取り組みになったそうです。

◎校庭開放

受付でまず目につくのはクラス数分の100円均一ショップで売られているカレンダー。31個の透明ポケットの中には子どもたちの名札が入っています。

申し込みのあった児童の名前をセット。校庭開放に来た子は受付でこの名札を裏返します。これを見れば、だれが参加しているか、だれが帰ったかが安全管理員さんや学校の教職員が一目でわかります。この工夫も高橋さんのひらめきとのこと。

今回は球技大会が近いということもあり、高学年のほとんどが参加していました。

